

周産期医療（周産期医療）分野 施策・指標体系図

番号	C 個別施策
----	--------

1	周産期医療機関の医療資源、提供可能な医療内容のリスト化
	指標1 年1回の調査実施の有無
	指標2 周産期母子医療センターの機能分担について協議の場がある
2	NICU運営費支援
	指標1 補助対象施設数
3	助産師外来及び院内助産所設置支援
	指標1 院内助産を行っている周産期母子医療センター数（医療機関施設数）
	指標2 助産師外来を行っている周産期母子医療センター数（医療機関施設数）

1	医師確保対策補助事業
	指標1 ①分娩手当、②新生児手当を支給している施設数
	指標2 ②沖縄県の次世代の指導医を育成するための研修支援
2	周産期センター維持に必要な認定専門職への支援
	指標1 周産期センター維持に必要な認定専門職への周産期関連研修や資格維持への支援を行う
	指標2 ①小児科医師数 ②分娩取扱医師数
	指標3 助産師養成者数
	指標4 各施設の医療スタッフ（臨床心理士・薬剤師・臨床工学技士・保育士等）の配置状況に関する年1回の調査実施の有無（個別施策1-1）
3	周産期医療人材の育成、技能維持を図る研修を行う
	指標1 ①新生児蘇生法講習（小児専門医等研修支援事業） ②周産期医療に関する各種講習会（ALSO/BLSO） ③母体救命システム講習（小児専門医等研修支援事業）

1	周産期空床情報システム運用
	指標1 システム改修実施の有無
	各施設のコーディネーターが連携できる体制を構築する
2	指標1 地域連携室連絡会議の開催数
	救急、搬送関連の搬送症例の評価が共有できる場がある
3	指標1 搬送症例の評価を行っている施設数

1	小児・周産期リエゾンが訓練又は研修に参加し技能の維持、向上を図る
	指標1 県主催の防災訓練参加者数
	指標2 リエゾン主催の研修回数
2	県独自の災害時行動計画（アクションプラン）の作成
	指標1 県周産期災害時行動計画（仮称）作成の有無

1	妊産婦のメンタルヘルスケア
	指標1 産科と精神科との合同研修会の開催の有無
	指標2 妊産婦の居住する市町村の母子保健事業について、妊産婦に個別に情報提供を行っている周産期母子医療センター数
2	妊産婦の口腔ケア
	指標1 妊娠期の歯・口腔の健康に関する正しい知識の普及を行う

番号	B 中間アウトカム
----	-----------

1	周産期医療体制（病床確保・施設整備）の充実
指標1	NICUの病床数
	GCUの病床数
指標2	分娩取り扱い施設数（①産科施設）
	分娩取り扱い施設数（②（有床・無床）助産所）

2	周産期医療人材の育成
指標1	周産期母子医療センター分娩取扱産婦人科医数
指標2	NICU専任及びNICU担当医師数
指標3	周産期専門医数
	①母体・胎児
	②新生児
指標4	24H緊急帝王切開対応麻酔科医師数
	①麻酔科
	未熟児・新生児疾病対応可能医師
指標5	周産期専門医認定施設数
	①母体・胎児
	②新生児
指標6	①新生児集中ケア 認定看護師の数
	②周産期・新生児指導医数
	③周産期母子医療センターのアドバンス助産師数
	④周産期母子医療センター以外のアドバンス助産師数

3	円滑な患者受入、搬送体制の維持
指標1	受入困難事例
	①医療機関への照会が4回以上の件数 ②現場滞在時間が30分以上の件数
指標2	①母体搬送受入数
	②県内新生児搬送受入数
指標3	県内搬送率

4	災害時にも周産期医療が提供できる体制の確保
指標1	小児・周産期リエゾン研修
	①受講者数 ②任命者数

5	妊産婦への支援体制の整備
指標1	産後ケア利用人数
指標2	周産期メンタルヘルスケアに対応できる精神科医療機関の数
指標3	メンタルヘルスケアに関する地域連絡票送付数(医療機関→市町村)
指標4	歯科検診実施市町村数

番号	A 分野アウトカム
----	-----------

基準年(R4)
目標年(R10)

めざすべき姿	継続的に新生児死亡率、周産期死亡率、妊産婦死亡率の原因を明らかにし、有効な対策による全国並みの安全性の維持、更なる改善を図る 周産期医療において人材・施設・設備が平時・災害事に関わらず持続的に安全に提供できる体制が整備されている 周産期母子医療センター入院中から、必要な医療、福祉、保健への速やかな連携が可能な支援体制が構築されている
--------	---

必須指標	新生児死亡率（人口千対）
	周産期死亡率（出生千対）
	妊産婦死亡数〔死亡率（（出産10万対））〕

県独自	社会的要因によるNICU長期入院児数（半年以上）
-----	--------------------------

分野別施策・指標評価表【周産期医療(在宅療育・療養環境分野)】

番号	C 個別施策
----	--------

周産期母子医療センターにおける在宅移行支援の体制整備	
1	指標1 在宅支援サービスの情報を発信している県のホームページがある
	指標2 NICU入院児の退院支援を専任で行う者を配置している周産期母子医療センター数
	指標3 地域連携室連絡会議の回数(再掲)

2	医療・福祉・保健サービスを要する医療的ケア児に結び母子保健体制整備	
	指標1	小児慢性特定疾病児レスパイト事業を受託している訪問看護事業所数
246	指標2	母子健康包括支援センターコーディネーターへの研修
3	医療体制の整備	
	指標1	小児在宅医療に関する医療機関等向け研修会の開催数
4	医療・福祉・保健の連携によるサービスの実施	
	指標1	医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場の設置市町村数
5	保護者の利用しやすい在宅児童福祉サービスの構築	
	指標1	医療的ケア児等コーディネーター養成研修の受講者数(延べ数)
	指標2	医療的ケア児等レスパイト推進基金事業の利用事業所数(延べ数)
6	災害時の対応整備	
	指標1	福祉避難所設置等に関する講習会の開催数(累計)

番号	B 中間アウトカム
----	-----------

NICUから円滑に退院できる環境整備	
1	指標1 退院支援プログラムがある周産期母子医療センター数
	指標2 NICU長期入院児等が自宅に退院する前に、家族が在宅ケアを行うための手技習得や環境の整備をする期間を設けるための病床を設置している周産期母子医療センター数
	指標3 退院支援を受けたNICU・GCU入院児数(二次医療圏)

在宅で療育・療養生活が継続できる母子保健体制の整備		
2	指標1 医療的ケアを要する小児慢性特定疾病児の支援率	
	指標2 市町村における未熟児訪問の実施率	
在宅で療育・療養生活が継続できる医療体制の整備		
3	指標1 医療的ケア児に対応できる医療機関数	
	指標2 ① 小児に対応する在宅医療支援薬局数 ② 訪問薬剤管理指導実施薬局数 ③ 訪問薬剤利用者数	
	指標3 小児に対応している訪問看護ステーション数	
在宅で療育・療養生活が継続できる福祉体制の整備		
4	指標1 医療的ケア児等コーディネーターを配置している市町村数	
	指標2 医療的ケア児に対応できるレスパイト支援及び通所サービス施設数	
	① 短期入所事業所数 ② 医療型児童発達支援事業所数 ③ 児童発達支援事業所(重症心身障害)	
5	地域で児や家族が安全に安心して生活できる環境整備	
	指標1 医療的ケア児を災害時の要援護者リストに載せている市町村数	

番号	A 分野アウトカム
----	-----------

基準年(R4)
目標年(R10)

乳児の状態に応じた療育・療養環境が整備されている	
1	指標1 半年以上の社会的要因によるNICU入院児数
	指標2 訪問看護を利用した児の数
	指標3 医療的ケア児の個別避難計画を策定している市町村数